

CAN2.0B インタフェースモジュール

Leading Edge Controller FA-M3V

Controller Area Network CAN2.0Bプロトコルをサポート

耐ノイズ性に優れた通信規格 CAN (Controller Area Network) に接続するためのインタフェースモジュールです。

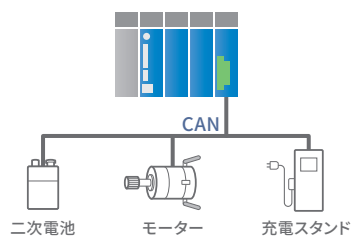
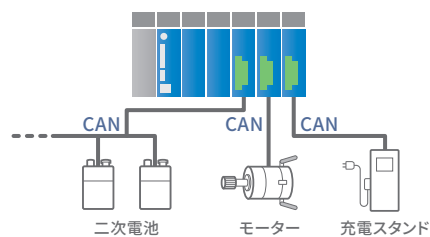
グローバルな車載制御ネットワーク「CAN通信」

- CANは、ドイツBosch社が提唱し、国際標準化機構 (ISO) によって、ISO11898および、ISO11519として規格化されています。
- 車載機器間の通信手段として発展してきましたが、信頼性や洗練された故障検出機能などが認められ、幅広い分野で利用されています。

FA-M3V
V I T E S S E™CAN2.0Bインタフェースモジュール
F3LD21-0N

汎用コントローラでCAN通信システム構築を容易に実現

- プロトコル変換機器を介さず、CANインタフェースを持つ外部機器とコントローラを直接接続することが可能。
- CAN通信対応製品のシステム構築が容易になり、スマート化 (小型・高速化) を実現。
- CAN2.0Bインタフェースモジュールのみで、自動周期送信が可能で、FA-M3本体の負荷を軽減。
- 同時最大320IDを受信することが可能。

同一回線にある複数機器への接続により
省配線が可能系統別に本モジュールを使用することで
保守性が向上

幅広い分野の実験/評価/検査工程に使用可能

[自動車/二次電池市場]

- 車載制御装置 (ECU) 間のデータ通信
- モータ/インバータの性能・耐久試験・評価システム
- EV用充電スタンド設備 など

[スマートグリッド市場]

- 電力系統用蓄電システム
- スマート/マイクログリッド実証実験システム など

[その他]

- FA産業機器の各種工程自動化システム など
信頼性を求められるさまざまな分野で使用可能です。



仕様

項目	仕様				
通信プロトコル	CAN2.0Bフォーマット(標準11bitIDおよび拡張29bitID対応)				
対象フレーム	データフレーム				
チャンネル数	1チャンネル				
送信機能	自動周期送信(10ms~65535ms)、手動送信				
受信機能	自動受信データ格納				
使用可能ID数	自動周期送信時:最大15ID 手動送信:制限なし 受信:同時最大320ID				
伝送速度	125kbps/250kbps/500kbps/1Mbps				
伝送媒体	専用ケーブル (5線:信号系2本,シールド1本,電源系2本) 太ケーブル:幹線用 細ケーブル:幹線/支線用				
伝送距離*1	伝送速度	幹線の最大長		支線の長さ	
		太ケーブル	細ケーブル	最大長	総延長距離
	125kbps	500m	100m	6m	156m
	250kbps	250m			78m
	500kbps	100m			39m
1Mbps	25m	25m	19m		
接続形態	マルチドロップ方式、T分岐方式				
誤り検出	CRCエラー				
通信用電源	電源:DC11~25V 消費電流:40mA以下(24VDC,接続コネクタより供給)				
終端抵抗	121Ω(内蔵,スイッチにより終端時指定)				
実装可能モジュール数	最大8枚				
消費電流	200mA以下(5V DC)				
外形寸法	28.9(W)×100(H)×83.2(D) mm*2				
質量	110g				

*1:サージ規格適合のためにはケーブル長は屋外10m以下、屋内30m以下としてください

*2:突起部を除く寸法

製品一覧

品名	形名	仕様
CAN2.0Bインタフェースモジュール	F3LD21-0N	CAN2.0Bプロトコル、最大1Mbps、1チャンネル

横河電機株式会社 コントロール営業統括部 国内営業部

本社 0422-52-6248
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

関西支社 06-6341-1385
〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー

中部支店 052-684-2004
〒456-0053 名古屋市熱田区一番3-5-19

九州支店 092-272-0111
〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21 大通りビジネスセンター

記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
Co-innovating tomorrow、OpreX、FA-M3V VITESEEは横河電機の登録商標
または商標です。

その他、記載の会社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。
All Rights Reserved, Copyright © 2018, by Yokogawa Electric Corporation

[Ed: 03/b] Printed in Japan, 204 (VC)